

じゅんじよをかんがえてよむ

つかえる国語 一年

1 まい目 きそ

言葉のきまりをたしかめる

1 2 3 4

めやす10分

答え

なまえ

1 「はじめに」は、いつつかうことばですか。

ア いちばんさいしょ

イ とちゅう

ウ いちばんさいご

こたえ

ア

2 「さいごに」は、いつつかうことばですか。

ア いちばんさいしょ

イ とちゅう

ウ いちばんさいご

こたえ

ウ

3 アにあうことばをかきましょう。

みずやりをします。はじめにじょうろにみずをいれます。ア、はなにみずをかけます。

ア

それから

じゅんばんは、はじめに、つぎに、それから、さいごにのじゅんです。

4 なぞってから、じぶんでかきましょう。

なぞる

つぎに、ぼうしをかぶります。

じぶんで

つぎに、ぼうしをかぶります。

5 「それから」のつぎにつかうことばは、なんですか。

さいごに

じゅんじよを かんがえて よむ

つかえる国語 一年

2まい目 よみとる

文章と資料から読み取る

1 2 3 4

めやす15分

答え

なまえ

とうばんのじゅんじよについて、【とうばんのじゅんじよ】と【じゅんじよするもの】をよんでこたえましょう。

1 とうばんは、はじめになにを

しますか。【とうばんのじゅんじよ】から

かきぬきましょう。

てをあらいます

①はじめに、てをあらいます。

それから、エプロンとぼうしを

つけます。

2 【じゅんじよするもの】で、◎の

しるしはどういういみですか。

ア だいじなもの

イ つかわないもの

ウ きらいなもの

こたえ ア

くばります。

②つぎに、きゆうしよくをは

こびます。さいごに、みんなに

3 【じゅんじよするもの】にあって、

【とうばんのじゅんじよ】にかいていない

ものはどれですか。

ア エプロン

イ ぼうし

ウ マスク

【じゅんじよするもの】

◎ エプロン

◎ ぼうし

○ マスク

こたえ

ウ

【じゅんじよするもの】と【とうばんのじゅんじよ】を
みくらべよう。

4 なぞってから、じぶんで

かきましよう。

なぞる つぎに、エプロンをつけます。

じぶんで つぎに、エプロンをつけます。

じゅんじよをかんがえてよむ

つかえる国語 一年

3まい目 かんがえる

くらべて筋道を立てる

1 2 3 4

めやす15分

答え

なまえ

そうじのじゅんばんをはなしています。【はなしあい】と
【せんせいがきめたじゅんばん】をよんで
こたえましょう。

【はなしあい】

そら なにからすればいいのかな。

あかり つくえ、それからゆかだよ。

みなと まどがさきだよ。ほこりが
おちるから。

【せんせいがきめた
じゅんばん】

じゅんばん	なに
1	まど
2	つくえ
3	ゆか

1

あかりさんがはじめにいったじ
ゅんばんは、なぜよくないですか。

ア ほこりがおちるから

イ じかんがかかるから

ウ たのしくないから

こたえ

ア

2

ア・イにあてはまることばを
かきましょう。

かんがえたのとちゅう ひょうをみると、
さきにするのはアです。 つぎはイ
です。

ア

まど

①

つくえ

3

もし、まどがあかないひだったら、
どちらがさきですか。

ア ゆかがさき

イ つくえがさき

ウ そうじをしない

こたえ

イ

4

なぞってから、じぶんで
かきましょう。

なぞる

はじめに、まどをあけます。

じぶんで

はじめに、まどをあけます。

じゅんじよを かんがえて よむ

つかえる国語 一年

4まい目 あらわす

考えと理由を文章で書く

1
2
3
4

めやす15分

答え

なまえ

ひかりさんが、あさがおのみずやりのじゅんばんをかきました。【したがき】と【せんせいのメモ】をよんでこたえましょう。

【したがき】

- ①じょうろに、みずをいれる。
- ②はなのねもとに、みずをかける。
- ③はっぱは、ぬらさない。

【せんせいのメモ】

○じゅんばんは あって
います

▲ことばが ぬけて
います

1

「さいごに」ということばをつけく
わえるのにいちばんよいだんらくは、①く
③のどれですか。ばんごうで

こたえ
③

こたえ

【したがき】のさいごのだんらくをもういちど
よもう。

2

①のだんらくのはじめにつける
ことばはどれですか。

ア はじめに

イ それから

ウ さいごに

こたえ

ア

3

なぞってから、じぶんで
かきましよう。

なぞる

はじめに、みずをいれる。

じぶんで

はじめに、みずをいれる。

4

③を、ことばをつけくわえて、
かきなおしましょう。

さいごに、はっぱはぬらさない。